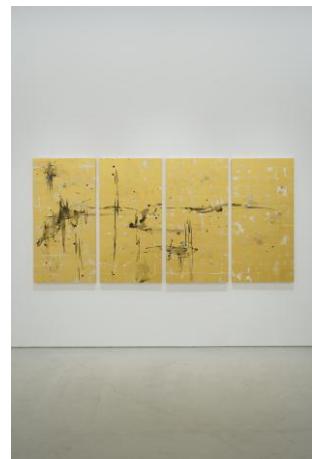


2026年1月22日

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

若手アーティストによるグループ展
「ポーラ ミュージアム アネックス展 2026」
前後期に分けて2月13日(金)より開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2026」を2026年2月13日(金)から4月19日(日)の会期で、前後期に分けて開催します。

「ポーラ ミュージアム アネックス展」は、公益財団法人ポーラ美術振興財団の助成事業の1つである若手芸術家の在外研修に対する助成において、過去に研修を修了されたアーティストを紹介する企画で、研修の成果を発表するとともに、アーティストに今後の制作活動につなげていただきたいという趣旨から毎年開催しています。

今回、前期展「文様のその先」では、中平美紗子・林樹里・松延総司による、素材や技法、空間といった異なる領域に向き合う表現に目を向けながら、「文様」を単なる装飾としてではなく、繰り返し・痕跡・抽象、といった思考のかたちを映し出すものとして捉え直します。こうした視点から現代の文脈においてあらためて編み直される、文様の現在を提示します。

後期展「存在の境界」では、ウチダリナ・黒田恵枝・敷地理が、人間存在の根源に横たわる「生と死」という問いを起点に、工芸、造形、身体表現といった多様な表現の場を行き交いながら、その複層的な在り方を探っていきます。アーティストそれぞれの実践を通して、存在の不確かさや、境界の揺らぎを静かに浮かび上がらせ、現代美術における死生観の諸相へと観る者を導きます。

展覧会では、若手アーティストたちに発表の場を提供することで、より活発な制作活動を支援するとともに、現代アートの普及を目指します。

※若手芸術家の在外研修に対する助成事業とは、40歳未満のアーティストを対象に海外での研修を援助し、更に活発な創作活動を奨励しようとするものです。

展示概要

【前期】

タイトル : 文様のその先
会期 : 2026年2月13日(金) - 3月15日(日)
参加作家 : 中平美紗子・林樹里・松延総司

【後期】

タイトル : 存在の境界
会期 : 2026年3月20日(金) - 4月19日(日)
参加作家 : ウチダリナ・黒田恵枝・敷地理

【前後期共通】

主催 : 公益財団法人ポーラ美術振興財団 <https://www.pola-art-foundation.jp/>
会場 : ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階)
時間・料金 : 11:00 - 19:00 (入場は18:30まで) / 入場無料 /*前後期 各会期中無休

左:(前期作家)中平 美紗子「Crossing」2022 ウール、ラミー 1640×2100×15mm
中:(後期作家)敷地理「burning dots」2024 ヴィデオインスタレーション サイズ可変 photo by Osamu Shikichi
右:(前期作家)林樹里「地つたひ虚空にあそぶ」2025 雲肌麻紙、金箔、墨、岩絵具 1400×2800×30m
※掲載作品は各作家の過去の参考作品も含みます。本展では新作も展示予定です。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス 広報室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

【お客様お問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス Tel 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

アートフェア東京2026

会期 2026年3月13日(金) – 3月15日(日)
時間 11:00 - 19:00 ※最終日15日のみ17:00終了
会場 東京国際フォーラムホールE&ロビー・ギャラリー(〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1)
出展者名 公益財団法人ポーラ美術振興財団(クロッシングセクション ブースNo.C007)
※入場にはチケットが必要です。詳しくは公式サイト(<https://artfairtokyo.com/>)をご確認ください

公益財団法人ポーラ美術振興財団の助成事業

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に以下の活動を行っています。

【参考資料:令和7年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	13件	3,727万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	8件	1,318万円
(3)美術に関する国際交流の助成	11件	1,851万円

作家プロフィール

※掲載作品は各作家の過去の参考作品も含みます。本展では新作も展示予定です。

【前期】

中平美紗子 Misako NAKAHIRA

<https://misakonakahira.com>

1992 高知県生まれ

2015 京都造形芸術大学(現: 京都芸術大学) 芸術学部 美術工芸学科

染織テキスタイルコース 卒業

2017 京都造形芸術大学大学院(現: 京都芸術大学大学院) 芸術研究科

芸術専攻 修士課程 総合造形領域 修了

2023-24 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(オーストラリア)

<主な展覧会>

2025 「Weave a Tale」個展 OXH GALLERY(アメリカ)

「Field Notes: An Art Survey」browngrotta arts(アメリカ)

2024 「INTERACTION」個展 RUBICON ARI Art Gallery(オーストラリア)

2023 「Line/Loop/Line」Australian Tapestry Workshop(オーストラリア)

「Dialogue -交差する縞-」個展 Reiwart 1F SmartLounge(東京)

2022 「LES TRAMES DU POSSIBLE」Amelie Maison d' art GALERIE SÉGUYER(フランス)

「Crossing」個展 ONE AND ONLY Gallery approach(京都)

2021 「Shima」個展 GALLERYGALLERY(京都)

2018 「The Intuitive Thread」The Japan Foundation(オーストラリア)

<受賞>

2025 The British Tapestry Group 20th Anniversary Exhibition Awards(イギリス)

2024 Kate Derum International Tapestry Awards ハイコメンデーション賞(オーストラリア)

Petite Miniature Textiles Awards 2024(オーストラリア)

2023 Australian Tapestry Workshop Artist In Residence 選出(オーストラリア)

2019 Kyoto Art for Tomorrow 2019 -京都府新鋭選抜展- アンスティチュ・フランセ関西賞(京都)



上. 中平 美紗子「Crossing」2022 ウール、ラミー 1640×2100×15mm

下. 中平美紗子「INTERACTION#YP」
2024 ウール、コットン 820×700×8mm 撮影ティム・グレシャム

林樹里 Julie HAYASHI

<https://www.juliehayashi.com/>

1989 大阪府生まれ
2013 東京藝術大学 美術学部 芸術学科 卒業
2015 東京藝術大学大学院 保存修復日本画 修士課程 修了
2018 東京藝術大学大学院 保存修復日本画 博士課程 修了 博士号(文化財)取得
東京藝術大学大学院 専門研究員
2019 東京藝術大学 COI拠点 特任助手
2023 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(ロンドン)
<主な展覧会>
2025 「うつろの疏水をながめたとき」YUKIKO MIZUTANI(東京)、「風声」建仁寺塔頭 鏡源院(京都)
2024 「noise in the shadow」個展, Fitzrovia gallery(ロンドン)
2023 「Art selection 林 樹里 展」日本橋三越(東京)
「bruit dans l' ombre」個展, Galerie Du Forez(パリ)
<受賞>
2020 公益財団法人吉野石膏美術振興財団「若手日本画家に対する展覧会助成」
2019 「SICF 2019」(表参道 Spiral) 入選、「アートオリンピア2019」(東京都美術館)佳作
2018 公益財団法人芳泉文化財団 研究助成、文部科学省 科学研究費 助成(～2019)
「たらしこみの実証的研究」
「有芽の会」(池袋西武アートフォーラム) 日本更生保護女性連盟会長賞
2016 公益財団法人芳泉文化財団 研究助成(～2017): 「たらしこみの研究—尾形光琳筆『四季草花図巻』の模写を通して」
2015 再興院展 入選(～2019)
2014 公益財団法人芳泉文化財団 研究助成(～2017): 尾形光琳筆「楓楓図屏風」
(東京藝術大学大学美術館蔵)現状模写・装潢



上. 林樹里「地つたひ虚空にあそぶ」 2025
雲肌麻紙、金箔、墨、岩絵具
1400×2800×30mm
下. 林樹里「風を聴き、雨を待ちて、光をう
つす」 2025 雲肌麻紙、金箔、墨
6000×430mm

松延総司 Soshi MATSUNOBE

<https://matsunobe.net>

1988 熊本県生まれ。
2008 京都嵯峨芸術大学短期大学部 卒業
2023 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(フランス)
<主な展覧会>
2025 「歴史は繰り返さないが、韻を踏む: Chronicle Vol. 3」 Up & Coming(東京)
「私の石」私立大室美術館(三重)
2024 「家具と抽出し」 A-LAB(兵庫)
「Woven Knot」 Gallery Chosun(ソウル/韓国)
「Dialogues」東京日仏学院(東京)
2024 「not a house」 MBL Architectes、パリ
「VOCA展2024 現代美術の展望」上野の森美術館(東京)
2022 「石と植物」滋賀県立美術館(滋賀)
2021 「Soft territory かかわりのあわい」滋賀県立美術館(滋賀)
「Ende Neu」KINDL - Centre for Contemporary Art(ベルリン)
<受賞>
2022 さっぽろ天神山アートスタジオ International Open Call AIR Program 2022-2023 採択
2020 Artist in residence program in Paris (京都芸術センター、ヴィラ九条山、千島財団) 2020-2021 採択
2020 平和堂財団芸術奨励賞



上. 松延総司「Pattern of Dark #1, #2 (Light
and Shade)」 2019 壁紙にインクジェットプリ
ント、ラインテープ 2700×2700mm
下. 松延総司「Pattern of Dark (fragments)
#2」 2025 紙にオフセットプリント、木材
900×780×9mm

【後期】

ウチダリナ Lina UCHIDA

<https://linauchida.com/>

1990 東京都生まれ千葉育ち

2013 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業

2016 東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻染織研究領域 修了

2020 公益財団法人ポーラ美術振興財団研修員(中国)

<主な展覧会>

2025 「INSECTS×SIMOSE昆虫アートの現在地」下瀬美術館(広島)

2024 「Homo Faber 2024「The Journey of Life」」 Fondazione Giorgio Cini(イタリア)

「VOCA展2024」上野の森美術館(東京)

2022 「高松コンテンポラリー・アート・アニュアル vol.10 ここに境界線はない。／？」

高松市美館(香川)

2018 「Thrill of Deception」Kunsthalle München(ドイツ)

<受賞>

2019 PARADISE AIR MATSUDO AWARTD

2013 東京藝術大学卒業作品展買上げ賞



上. ウチダリナ「Ghost」 2022 和紙、のり サイズ可変 Photo: Shintaro Yamanaka (Qsyum!)

下. ウチダリナ「寂靜之山」シリーズ 2024- 写真
サイズ可変

黒田恵枝 Yoshie KURODA

<https://www.yoshie-kuroda.com/>

1987 福岡県生まれ

2010 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科情報芸術コース卒業

2020 九州芸文館と釜山文化財団国際交換レジデンスプログラム(韓国)

2022 アーティスト・イン・レジデンスプログラム台北2021(台湾)

2023-2024 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(ドイツ)

<主な展覧会>

2025 「Blooming」/ ISETAN Gallery(東京)

「Symbiosis」/ YOD TOKYO(東京)

2024 「生生流転」/ Gallery CONTAINER(福岡)

2023 「無常」/ YOD TOKYO(東京)

2022 「Home」/ Treasure Hill Artist Village(台北 /台湾)

2020 「Current Location」/ Hongti Art Center (釜山 / 韓国)

<受賞>

2025 第28回岡本太郎現代芸術賞 入選

2019 六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019 奨励賞

Brillia ART AWARD 2019 入選

2017 SICF18 審査委員栗栖良依賞



上. 黒田恵枝「Story Of You」 2024 使われなくなった衣類・靴、使われなくなったカーテン、壊れた時計、糸、綿、木材、電動モーター サイズ可変

下. 黒田恵枝「2024.1.18 12:43:12 -Stories-」 2024 アクリルパネルにインクジェットプリント
728×515×20mm

敷地理 Osamu SHIKICHI

https://linktr.ee/osamu_shikichi

1994 埼玉県生まれ

2018 武蔵野美術大学彫刻学科 卒業

2023 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(ベルギー)

2024 P.A.R.T.S. (Performing Arts Research and Training Studio) Master of

Dance 修士課程修了(ベルギー)

アーティスト・イン・レジデンス「Gasworks」(イギリス)

<主な展覧会>

2025 「when the eyes lick images」Space n.n. @Various Others | Munich

contemporary art festival 2025(ミュンヘン)

「複数形の身体」Tokyo Arts and Space(東京)

2023 「Diusion of Nature 土と夢」GASBON METABOLISM(山形)

2022 「わたしの穴 美術の穴 | 地底人とミラーレス・ミラー」gallery α M(東京)

2021 「ama phantom」BankArt1929 KAIKO(横浜)

<受賞>

2024 アーツコミッション横浜 アーティスト・フェロー 2024

2023 FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2023

2022 千島財団 スペース助成

2020 Contemporary Art Foundation Award 2020 ("blooming dots")

若手振付家の為のフランス大使館賞(横浜ダンスコレクション2020 コンペティション I)



上.敷地理「ユアファントムアイ、アワクリスタライズペイン」 2023- パブォーマンス
サイズ可変 photo by Anya Fedoronchuk

下.敷地理「burning dots」 2024 ビデオ
インストレーション サイズ可変 photo by
Osamu Shikichi